

2009 年度 線形代数学 再 試験問題(電子)

日時：2009 年 9 月 2 日（水）12:50-14:20

場所：D204(大学院棟)

注意事項：

- 1．指定された席に着席すること。
- 2．答案用紙は教卓に提出して退席すること。
- 3．問題用紙は持ち帰ること。
- 4．途中の計算課程も記述すること。
- 5．行列の行基本変形を用いる場合には、どの規則で変形を行ったのかも書くこと。（なお、この記述には、「1 列目の掃き出し」といった記述を用いてもよい。）
- 6．草稿用紙が必要な場合は申し出ること。

1. 行列の計算

以下の行列 A, B, C, D に対して、問いに答えよ。

$$A = \begin{bmatrix} -1 & 0 \\ 1 & 2 \end{bmatrix}, \quad B = \begin{bmatrix} 2 & 0 & 0 \\ -1 & 1 & 3 \end{bmatrix}, \quad C = \begin{bmatrix} -1 & 3 & -2 \\ 0 & 1 & 0 \end{bmatrix}, \quad D = \begin{bmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 2 \end{bmatrix}$$

(1) 和が定義されるすべての組み合わせに対して、和を求めよ。

($A + A$ 等同じ行列同士の和も考えること。)

(2) 積が定義されるすべての組み合わせに対して、積を求めよ。

($A \bullet A$ 等同じ行列同士の積も考えること。)

(3) 次式の計算可能性を判定し、計算可能であれば計算せよ。

$$3A(3B + 4C)D - 2A(4BD + 6CD)$$

(4) 次式の計算可能性を判定し、計算可能であれば計算せよ。

$$3(2BA - 3CD) - 2(3BA - 5CD)$$

(5) 次式の計算可能性を判定し、計算可能であれば計算せよ。

ここで、 tX で行列 X の転置行列を表す。

$${}^t \left(\left({}^t(BD) + {}^tD {}^tC \right) {}^tA \right)$$

2. 行列の性質

次の行列 A, B, C に関して、問いに答えよ。

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -2 & 3 \\ 1 & 0 & 2 \\ -1 & 3 & x \end{bmatrix}, \quad B = \begin{bmatrix} 1 & 0 & -1 \\ 0 & y & 1 \\ -2 & 5 & 3 \end{bmatrix}, \quad C = AB$$

(1) $|A| = 1$ のとき、 x の満たすべき条件を求めよ。

(2) $|A| = 1$ のとき、 $|C|$ を求めよ。

(3) B が逆行列を持つとき、 y の満たすべき条件を求めよ。

(4) $y = 1$ のとき、逆行列 B^{-1} を求めよ。

(5) $\text{rank} C < 3$ のとき、 x, y の満たすべき条件を答えよ。

3. ベクトルの演算とその応用

3次元空間中に次の3点が与えられたとき、各設問に答えよ。

$A(2, 1, -1), B(1, 0, 3), C(-1, 1, 0)$

(1) 内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$

(2) ベクトル $\overrightarrow{OA}$ とベクトル $\overrightarrow{OC}$ に垂直な単位ベクトル $\mathbf{n}$

(すなわち、 $\mathbf{n} \perp \overrightarrow{OA}, \mathbf{n} \perp \overrightarrow{OC}, \|\mathbf{n}\| = 1$)

(3) 線分 OA と線分 OC を2辺とする平行四辺形の面積

(4) 3線分 OA, OB, OC を3辺とする平行六面体の体積

4. 線形空間と線形写像

$$\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ -2 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} -3 \\ -7 \\ 3 \end{bmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{bmatrix} 1 \\ 7 \\ -8 \end{bmatrix}$$

とする。

このとき、次の設問に答えよ。

(1) ベクトルの集合 $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$ が一次独立か一次従属のどちらであることを判定せよ。また、

一次従属の場合には、 $\mathbf{a}_3$ を $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2\}$ の一次結合で表せ。

(2) $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$ の生成する部分空間 $L\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$ を求めよ。

(3) $A = [\mathbf{a}_1 \quad \mathbf{a}_2 \quad \mathbf{a}_3]$ とする。次の連立方程式を解け。

$$A\mathbf{x} = \mathbf{0} \Leftrightarrow \begin{bmatrix} 1 & -3 & 1 \\ 3 & -7 & 7 \\ -2 & 3 & -8 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$$

(4) A を表現行列とする線形写像を f_A とする。像 $\text{Im } f_A$ と核 $\text{Ker } f_A$ を求めよ。